

太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

での投入総額は約1億6000万円を上回るでしょう。

久遠塾開塾後、5年間の町内中学校卒業生の白糠高等学校への進学率は約2割強、多い年でも4割弱です。このプロジェクトが白糠高等学校入学者を増加させるため、貢献しているのだろうかという疑問を抱かざるを得ません。

各校の生徒やその保護者に対し、白糠高等学校入学後に久遠塾をはじめとする生徒へのさまざまなサービスマやサポート内容をどこどの程度説明し、結果、生徒や保護者の反応はどうだったのでしょうか。

久遠塾のリーフレットにも掲載されていますが、進学指導のみならず、地域（町内企業等）が求める人材を育成するための支援があります。就職を希望する生徒に対し、地元企業に就職するメリットや企業の業務紹介等の案内、支援は行われているのでしょうか。

久遠塾と白糠高等学校が連携し、進路指導の一環として地元企業の方を外部講師として招へいし、企業説明会等を開催することはできないものでしょうか。

白糠高等学校魅力化プロジェクトにより白糠高等学校の生徒たちは、

大変恵まれた環境の中で学習等に専念できています。

町内外から意欲的な生徒を集め、白糠高等学校の活性化と間口の維持・拡大を図る目的のため築かれたこのすばらしい環境を、町内外の多くの中学校教員や生徒・保護者等にアピールするため、真摯な態度で継続的に推進していただきたいと願っています。

お答えします

白糠高等学校の魅力化プロジェクトに関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。

少子化の進行や学区制の変更による生徒数の減少に伴い、何としても高校を存続させなければならぬという町民皆さまの強い思いも受け、将来展望に向けた取り組みとして魅力化プロジェクトを進めてきました。昨年からは、子どもたちが自ら行ってみたいと思える学校づくりに向けて「環境教育」と「道外募集」の新たな取り組みを加えたところで、

町としても高校の魅力化に向けたさまざまな支援を行っていますが、同時に、国の交付金などの財源もで

きる限り有効に活用しています。

また、生徒募集については、町内および釧路市内の義務教育学校・中学校で行われる進路説明会や白糠高等学校の学校説明会において、高校と久遠塾が合同で生徒募集のPR活動を行うなど、積極的な取り組みを進めています。残念ながら現在までのところ生徒増の結果には結びついていません。

白糠高等学校では、地域を支える人材の育成を目的として、地元企業や地域住民から助言を得ながら、生徒一人一人に対する望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育に取り組んでおり、令和4年度の釧路管内教育実践表彰を受賞しています。

白糠高等学校に進学した生徒は、高校の取り組みに加えて、久遠塾で勉強したり、進学や就職のサポートを受けたりすることにより、自らの進路に対する意識が格段に高まるなど、久遠塾開設の成果が表れ始めているところですので、今後につきましても、今回いただいたご意見等も踏まえ、常に見直しを加えながら魅力化の取り組みを継続するとともに、これまで以上に積極的なPR活動を展開していきたいと考えています。

〈教育委員会〉

白糠高等学校

魅力化プロジェクトは

目的に沿って

推進されていますか？



70代・男性

平成28年にスタートした白糠高等学校魅力化プロジェクト。町は、平成29年度から令和3年度までの5年間で、プロジェクト推進のために約1億3300万円を支出しています。令和4年度分を含めると、6年間